

## 平成 30 年度第 7 回安塚区地域協議会次第

日時：平成 30 年 9 月 26 日（水）

午後 7 時から

場所：安塚区総合事務所 3 階 301 会議室

### 1 開 会

### 2 会長挨拶

### 3 協 議

- (1) 平成 30 年度「大・浦・安」地域協議会委員研修会について 資料 No. 1
- (2) 安塚区地域協議会としての審議内容について

### 4 報 告

- (1) 自主的審議事項「地域活動における人員不足について」
- (2) 安塚区地域懇談会開催結果について 資料 No. 2

### 5 その他

- (1) 連絡事項
  - ・浦川原区地域協議会委員研修会について
- (2) 次回開催 平成 年 月 日（ ）午後 時 開会

### 6 閉 会

平成30年度「大・浦・安」地域協議会委員研修会開催要項（案）

【趣 旨】 大島区、浦川原区、安塚区の地域協議会委員が一堂に会し、日ごろの活動状況などについて情報交換するとともに、テーマを定めた研修の場として「大・浦・安」地域協議会委員研修会を開催する。

【日 時】 平成30年11月13日（火） 15時00分から

【会 場】 講 演 会 安塚コミュニティプラザ  
情報交換会 ゆきだるま温泉 雪の湯

【内 容】

1. 開 会 15:00
2. あいさつ （安塚区地域協議会 数井会長）
3. 講 演 会  
講 演  
演 題：「未 定」 15:10～16:10  
※自衛隊の現状や役割、地域との関わりを  
テーマに講演を依頼しています。  
講 師：陸上自衛隊高田駐屯地  
第5施設群長 北島 崇生 様  
質疑応答 16:10～16:30  
移 動 16:40～17:10
4. 情報交換会 17:20～19:00  
ゆきだるま温泉 雪の湯

【参集者】

- ・大島区地域協議会（中村朝彦会長） 12人
- ・浦川原区地域協議会（藤田宏禎会長） 12人
- ・安塚区地域協議会（数井憲一会長） 12人
- ・各区事務局

平成30年度 幹事

安塚区地域協議会

事務局：安塚区総合事務所 総務・地域振興グループ 國保・仮澤

電話 025-592-2003

## 安塚区地域懇談会 開催結果

開催日	会場	対象町内会	参加人数
平成30年7月2日 (月)	船倉地域生涯学習センター	上船町内会、中船町内会、樽田川町内会	10人
平成30年7月13日 (金)	真萩平地区集落開発センター	おぎの町内会	16人
平成30年7月17日 (火)	克雪管理センター	菱里町内会	13人
平成30年7月18日 (水)	B&G海洋センター	おぐろ町内会（行野自治会、大原自治会、芹田自治会、小黒自治会、切越自治会） 和田町内会	13人
平成30年7月19日 (木)	朴の木地区集落開発センター	おぐろ町内会（朴の木自治会） 菅沼町内会	14人
平成30年7月23日 (月)	安塚コミュニティプラザ	安塚町内会、牧野町内会、上方町内会、本郷町内会、石橋町内会、直峰町内会	7人
平成30年7月25日 (水)	中川地域生涯学習センター	坊金町内会、細野町内会	18人
平成30年7月26日 (木)	須川ふれあいセンター	須川町内会	15人
合 計			106人

船倉地域生涯学習センター

質問・要望等の内容	回答
<ul style="list-style-type: none"> <li>・市道の草刈りの状況はどうなっているのか。</li> <li>・昨年の市道の草刈りでは、同じ路線で除草した場所と、除草していない場所があった。場所は飛び飛びで、今年はそのようなことが無いようにしてもらいたい。</li> </ul>	<p>(渡辺G長)</p> <p>市道の草刈については、NPO 雪のふるさと安塚に委託し、順次実施している。早く行うように依頼している。また、実施の際には、町内会長へ事前に連絡するよう指導している。</p> <p>NPO 雪のふるさと安塚へ、草刈りの状況を確認する。</p> <p>(渡辺G長)</p> <p>除草の状況を確認し、除草が不十分な路線があれば、業者を指導する。</p>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・市道の路肩が崩壊しているところがあり、昨年度で復旧すると話があったが、現在まで復旧していない。</li> </ul>	<p>(渡辺G長)</p> <p>現場を確認し、対応する。</p>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・船倉地域生涯学習センターの非常用照明修繕については、施設を取壊しの予定なので行わないと説明があったが、取壊しを住民に周知しているのか。</li> <li>・具体的に、いつ頃取り壊すといったことを知りたい。</li> <li>・除却の時期が決定していない状況で、非常用照明を修繕しないのはおかしいのではないか。除却するまで維持管理をしてほしい。</li> <li>・体育館が避難所となっている。体育館にはトイレや厨房が無いが、除却となった場合、トイレや厨房は、設置されるのか。</li> </ul>	<p>(市川所長)</p> <p>船倉地域生涯学習センターは除却の方向であり、このため、非常用照明の予算はない。地域の皆さんの利用がある間は、利用していただきたいと思っている。今後も使うための方策を総合事務所でも考えている。</p> <p>(市川所長)</p> <p>市内でも、条例を廃止し、除却が必要とされる施設が多くあるが、財源の関係で除却の見通しが立っていない。除却されている施設は、そのままと危険な建物や、別の目的で利用するため除却されている場合のみである。いつ除却するのかは未定である。</p> <p>(市川所長)</p> <p>廃止・除却の方向性となっている施設なので、いつまで使うかということも考えながら、修繕を行わないこととした。</p> <p>(市川所長)</p> <p>体育館の対応を含め検討しているが、現状では未定である。必要なものしか残せない</p>

質問・要望等の内容	回答
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 除却が未定であるならば、除却するまできちんと維持管理をすべきではないか。</li>   <li>・ 生涯学習センターを取り壊す時に、避難所となっている体育館も取り壊すのか。</li> </ul>	<p>いう状況になっている。今の段階では全くの未定である。</p> <p>（市川所長）</p> <p>非常用照明を修繕する他の施設と、船倉地域生涯学習センターの違いは、他の施設は除却とされていないが、船倉地域生涯学習センターについては除却の方向性となっている。このため、他の施設では非常用照明を修繕するが、船倉地域生涯学習センターは行わないこととした。</p> <p>（市川所長）</p> <p>体育館については、未定である。避難所となっていることから、防災関連の計画や行政改革関連の計画等により決定される。</p> <p>避難所としての体育館の方向性も定まった段階で皆さんに説明を行う。</p>

真萩平地区集落開発センター

質問・要望等の内容	回答
<p>・人口が減少し、集落役員の選出が難しい状況にある。農家組合長や自治会長なども無くしてほしいと思う。</p> <p>・共同で行う農作業も、農家数の減少で難しくなってきた。</p>	<p>(市川所長)</p> <p>人口推計によると、20年後の安塚区の人口は1,000人以下となるとされている。無くなる町内会も想定される。</p> <p>やすづか自由学園の奉仕活動で、旧菱里村の皆さんが生徒と一緒に活動していた。今後は、隣の町内会と一緒にしても問題は解決しないので、旧中学校区単位で一緒になるといったことも考えていく必要がある。一緒になった町内会の運営については、安塚区独自の方法が必要ではないかと考えている。</p> <p>(市川所長)</p> <p>旧中学校区単位で、農業生産法人等が設立し、対応を図ることができないかと感じている。</p> <p>農家の減少により、耕作されない農地が増えると思う。核となる農家を中心とした農地の集積といったことが図られ、その後、法人化といった対応が考えられる。</p> <p>(山崎G長)</p> <p>法人化に関しては、市・県で専門の職員がおり、皆さんに説明、指導することができるので、ご相談いただきたい。</p>
<p>・全国で豪雨災害が発生し、ため池の崩壊による被害が懸念されている。集落の上に30aほどのため池があり、シートが破れたりして水が溜まっていないが、老朽化しているので不安がある。</p>	<p>(山崎G長)</p> <p>現場を確認する。また、地すべり巡視報告にも記載してほしい。</p>
<p>・人口が減少しているため、共同作業やイベントの実施が難しくなってきた。その一方で、自分の住んでいる場所で、自分ができることをやっていかなければならないと思う。ほかの地区で、何か参考になるような事例があればよいと思う。</p> <p>・人口減少については、自分の子供が転出し</p>	<p>(市川所長)</p> <p>人口減少は、全国的なことであり、上越市の中心部や、新潟市でも自分の子供が転出し、高齢者が多くなってきた。そのなかで、生活を維持していくためには、これまで行っていた行事などを取捨選択することが必要だと思う。以前と同じに維持していくことは限界になっていると思う。</p> <p>(市川所長)</p>

質問・要望等の内容	回答
<p>ている。自分たちにも責任があると思う。</p>	<p>移住したいという人もいる。自分たちでできることを維持しながら、そば祭りといったにぎやかなイベントや、お互いを支えあえるご縁といったものを作っていくことが大事だと思う。また、イベントに毎回訪れる人もいる。そのようなことを通して、皆さんが楽しく暮らしていけたらと思う。</p> <p>中山間地域支え隊というボランティア制度があり、必要であればボランティアの派遣も可能となっている。このような制度を活用することも一案だと思う。</p> <p>また、地域おこし協力隊という制度もあり、上越市でもこの制度に取り組み、定住に向けて活動している。</p>
<p>・自分たちだけで農地を守ることはできないと思う。企業などが参入するか、企業化した農業でないと山間地の農地は守れないと思う。</p>	<p>(市川所長)</p> <p>他区では、若い人が農業を始めて、主に外食用の米を栽培している。そのような体制や、収入が確保できる仕組みがあれば良いと思う。そのことが定住にもつながると思う。</p>
<p>・市からの配布物などを各世帯に配ることが負担になってきている。夏はそれほどでもないが、冬は大変である。</p>	<p>(市川所長)</p> <p>船倉の会場で、各戸への配布物について負担感はどうかとお聞きした。船倉では昔からなので、距離があっても負担に感じていないとのことだったが、やはり大変だと思う。やり方を工夫して対応してほしい。</p>
<p>・家が点在し、高齢者が多い。災害時、近所の人を避難させることが難しい場合がある。高齢化が進んだ山間地であるこの地域の避難計画を作ろうと思うがうまくいかない。</p>	<p>(池田班長)</p> <p>安塚区では、防災士会が設立された。防災士は、自主防災組織が避難訓練や避難計画を作成する際に、専門知識でアドバイスや指導を行うので、防災士会にご相談ください。</p>

克雪管理センター

質問・要望等の内容	回答
<ul style="list-style-type: none"> <li>町内会要望について、毎年同じ内容の要望を提出している。回答は、毎回経過観察とされている。また、今年、砂防堰堤の崩壊があり、春先に現地を確認してもらったが、その回答が無い。大雨による土砂流出等の被害が心配される。早急な対応をお願いしたい。わかる範囲でお答え願いたい。</li> </ul>	<p>(渡辺G長)</p> <p>春先に立会いを行ったということで、県も状況は理解していると思う。県から対応方針が示されていない。私は現場を見ていないので、即答はできないが、県に確認する。県の対応方針などを確認し、お答えする。</p>
<ul style="list-style-type: none"> <li>7月15日に用事があり直江津へ行ったが、国道8号、山麓線が「うみがたり」へ行く車で非常に渋滞していた。これから夏休みを迎え、「うみがたり」利用客がさらに多くなると予想される。何らかの対応をしてほしいと思う。</li> </ul>	<p>(市川所長)</p> <p>交通関係の担当に、要望があったことを伝える。</p>
<ul style="list-style-type: none"> <li>民泊で子供を宿泊させた人から、子供が3人宿泊し、1人が夜になって体調を崩し、先生が連れて帰った。民泊料金の振り込みの際に、1人分の朝食を差し引いて振り込むと連絡があったと聞いた。こちらの落ち度で食べなかったのであれば理解できるが、おかしいのではないか。</li> </ul>	<p>(ゆきだるま財団 小林理事長)</p> <p>財団には1人食べなかったと連絡が無いので、3人分の朝食料金でお支払いしている。確認し、連絡する。</p>
<ul style="list-style-type: none"> <li>昨年、長倉山でがけ崩れがあり、総合事務所の職員から確認してもらった。今年になり、がけ崩れの面積が大きくなったように思うので、また確認してもらいたい。すぐに被害があると思わないが、お願いしたい。</li> </ul>	<p>(渡辺G長)</p> <p>後日、現場を確認する。その際には同行をお願いしたい。</p>
<ul style="list-style-type: none"> <li>所有する土地について、水源の保全に関係していると、正善寺ダム管理から手紙が届いた。電話してそちらの間違いではないかと話をしたが、よくわからない。土地は水源保全に関係ない場所だと思うが、わかったら教えてほしい。</li> </ul>	<p>(市川所長)</p> <p>確認し、連絡する。</p>
<ul style="list-style-type: none"> <li>除雪体制が良くなってきたので、雪の負担は昔ほど感じない。</li> <li>バスは乗ったことが無いのでわからない。</li> <li>灯の回廊では、作業する人が少なくなって、いつまでできるかわからない。</li> </ul>	<p>(市川所長)</p> <p>地域協議会では、地域づくりの人材不足について協議している。地区の状況について、御意見があれば、お願いしたい。また、バスの運行について御意見があればお願いしたい。</p>



質問・要望等の内容	回答
	人口も減少し、安塚では2,400人を下回っている。人口減少による影響などで御意見があればお願いしたい。

B & G 海洋センター

質問・要望等の内容	回答
<ul style="list-style-type: none"> <li>・キューピッドバレイ関連に 1 億円以上の予算が入っている。地域にとって元気が出る重要な施設なので、これからも支援をお願いしたい。</li> </ul>	<p>御意見としてお聞きする。</p>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・上越魚沼高規格道路の完成はいつ頃になるのか。</li> </ul>	<p>(市川所長)</p> <p>道路の建設は、上越地域振興局が担当している。東維持管理事務所の所長に聞いたが、はっきりしたことはわからないとのこと。三和区までは、県立武道館の完成までに開通予定であるが、三和～浦川原間は、予算が付いたかどうかは分かっていない。</p> <p>安塚から大島方面は、用地買収や計画も未定である。今後も、情報があればお知らせする。</p>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・高田公園野球場では高校野球の予選が行われていない。昨年、予選ができるように改修工事が行われたと聞いたが、なぜ予選が行われていないのか。</li> <li>・駐車場の出入り口が 1 か所で、出る際の青信号が短い。このため、なかなか出られない現状がある。ソフトボール場が駐車場となると聞いているので、少しは改善されるのかと思っている。</li> </ul>	<p>(横尾G長)</p> <p>野球場の広さは、予選ができる大きさだと聞いている。改修も終了している。予選ができる大きさだと高野連も認識しているようだが、高校野球の予選会場を決定しているのは高野連であり、予選が行われない理由は不明である。</p> <p>御意見としてお聞きする。</p>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・火事により焼失した雪室の今後はどうなるのか。</li> <li>・工事が始まっているのではないのか。</li> </ul>	<p>(市川所長)</p> <p>改修中の火事により焼失したため、保険の査定などに手間取っていた。基本的には、同じ所に建て替えるという方向で検討している。雪室が無くなることは無いと思っている。ただし、まだ結論が出ていない。</p> <p>(市川所長)</p> <p>取壊しの工事のみ開始している。建物は取り壊したが、跡地の穴に残土を搬入する作業をこれから開始する。</p>

質問・要望等の内容	回答
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ほのぼの荘は取り壊しの方向なのか。</li> </ul>	<p>(市川所長)</p> <p>取り壊しの方向で、作業を進めてきた。現在、再度、有効活用ができないか検討している。ただし、温泉施設として整備されており、今後有効活用するには、相当の費用が掛かると予想している。</p>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・旧ゆきだるまクリニックの建物があるが、災害時に避難所であるB&amp;G海洋センターに行くことができない地域が予想される。その場合、旧雪だるまクリニックを緊急的な避難所として使用することは可能か。</li> <li>・除却の時期はいつになるのか。</li> </ul>	<p>(市川所長)</p> <p>状況によっては、使用することは可能だと判断する。ただし、電気や水道が無い避難所としての対応となってしまう。</p> <p>(市川所長)</p> <p>厳しい財政状況にあり、また、廃止する施設が多くなっている。別な目的で使用するため除却するなどの理由が無いと、なかなか除却できない、未定である。</p>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ほかに適当な施設が無かったため、B&amp;Gが避難所になっている。上流に朴の木ダムがあり、ダムが決壊した場合にどのような対応を取るのか。集落としても、日頃からいろいろな災害に対し対応を考えている。</li> </ul>	<p>(市川所長)</p> <p>完全な避難所は、作ることはできないと思っている。それぞれの災害に対応した避難が必要と考えている。必ずしもB&amp;G海洋センターに避難するというのではない。命を守ることを最優先に考え、避難を行ってほしい。</p>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・小黒地域活性化事業で、アンケート調査を行うこととしている。結婚観や集落のしきりについて調査したいと思っている。集落の寄り合いで、独身者から、結婚願望や結婚に向けて、集落の支援や補助ができないかという話があったため、アンケートに盛り込んだ。集落が支援することとなった場合、どのような方法があるかご指導をお願いしたい。</li> </ul>	<p>御意見としてお聞きする。</p>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・免許更新で、認知症の検査を受けた。高齢者が免許を更新することが難しくなっていると感じている。山間地で生活するには、自動車が必要であるが、免許の無い高齢者の増加が予想される。高齢者の足の確保のために、何か支援策や計画は無いのか。</li> </ul>	<p>(市川所長)</p> <p>公共交通の見直しを行っている。高齢者への対応も含めて検討している。また、NPO雪のふるさと安塚が試行として、おぎの地区で1か月に2回、診療所への送迎を行っている。いずれにしても、皆さんが不便に感じないよう検討をしている。また、御提案があれば教</p>

質問・要望等の内容	回答
	えてほしい。
<p>・有害鳥獣により、農作物の被害が多くなっている。トラばさみなどで捕まえた動物を、総合事務所で処分できないか。</p>	<p>(市川所長)          わなの免許を持っていると捕まえることができる。免許の無い人がわなを使って動物を捕らえると違反になる。</p> <p>(山崎G長)          わなの免許取得に対し、市で補助している。</p> <p>(大橋次長)          トラばさみは使用禁止である。柿崎では、イノシシを年間100頭ほど捕まえている。くくりわなで捕獲している。</p>
<p>・新潟の健康管理センターで人間ドックを受けている。2万円以上支払った場合、1万円の補助があると聞いている。昨年は、予算化していないとのことだったが、今年の実況を聞きたい。</p>	<p>(横尾G長)          後期高齢者の場合、人間ドックを受けた際に1万円の補助がある。申請には領収書が必要なので、保管してほしい。詳しい申請方法は確認し、お知らせする。</p>

朴の木地区集落開発センター

質問・要望等の内容	回答
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ B &amp; Gの公園にある遊具はいつ頃修理されるのか。使用禁止のままである。子供の遊ぶ場所が無い。子供が遊ぶ場所が無いから、若者がいなくなっているのではないか。子供が遊ぶ場所がほしい。</li> <li>・ 子供は、使用禁止や危険の文字を読めない。危ないのであれば撤去してもらいたい。</li> </ul>	<p>(横尾G長)</p> <p>遊具は設置後、30年以上経過しており、老朽化したものから順次撤去している。遊具による事故等もあり、新しい遊具の設置は、難しい状況にある。</p> <p>(市川所長)</p> <p>遊具が無いと、子供たちが遊ばないということは、御意見の一つだと思う。しかし、市内の公園では、遊具があっても子供が遊んでいないことが多い。このため、新しい遊具の設置は難しい状況にある。</p> <p>(横尾G長)</p> <p>危険な遊具は取り壊す予定としている。</p>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 菅沼朴の木高尾線の市道管理については、集落で管理している。側溝の掃除について、各家庭から2人参加してもらい、2回行い、なんとか終了した。高齢化・人口減少で負担が大きく、市の協力をお願いしたい。</li> <li>・ NPO 雪のふるさと安塚で、市道の除草や、側溝の清掃を行っていたが、やらなくなったので、地元で対応してきた。</li> </ul>	<p>(渡辺G長)</p> <p>市道の管理は、市で行うことが基本であるが、どのような経緯で、集落管理になったのかは不明である。道路補修員や道路パトロール員により、市道の維持管理を行っているが、手が足りないのが実情である。地域の皆さんから側溝のつまりなどについて連絡があり、対応を図っているが、地元の皆さんから対応してもらっている場合もある。確認する。</p> <p>(渡辺G長)</p> <p>市道の除草は、NPO 雪のふるさと安塚に現在も委託している。確認する。</p>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 田舎屋から菅沼間の市道については、雪崩の危険により通行できない場合、春先まで通行止めとなっている。春になり、道路の雪が消えて、通行できるはずだが、途中で雪を集め山にしてあるため、通行できない。危険な時に通行止めすることは理解できるが、危険ではないときは、通行できるようにしてほしい。また、雪崩の防雪柵の設置を要望する。</li> </ul>	<p>(渡辺G長)</p> <p>現状は、確認している。例年は3月末に通行止めを解除しているが、今年は除雪の予算が無くなり、新年度の4月になってから除雪し、通行止めを解除した。雪崩の危険性が無くなったら、早急に通行できるよう、雪対策室と協議する。</p> <p>防雪柵については、経費の関係で、市で設置するのは難しい。過去に県で設置しているので、県に要望する。</p>

質問・要望等の内容	回答
<ul style="list-style-type: none"> <li>市道全般に舗装が傷んでいる。一部分だけ直していくのではなく、全面的な修繕をお願いしたい。</li> </ul>	<p>(渡辺G長)</p> <p>破損個所が広範囲に及んでいる。一部分だけ直すのではなく、全面的な修繕が必要と判断している。市の方針として、修繕面積が広い路線は、計画的に修繕することとしているため、計画に計上するよう調整している。道路状況は把握しており、どうしても通行に支障がある部分のみパッチ等の修繕で対応している。</p>
<ul style="list-style-type: none"> <li>民生委員、交通安全指導員の選出が難しくなっている。</li> <li>菅沼は、現在10世帯で、80歳近い人ばかりである。順番だと、次回は菅沼から民生委員を選出することになり、不安がる。</li> <li>以前の選出の際に、65歳以下でないと、民生委員に選出できなかった。このため選出に苦労した。</li> </ul> <p>※委員選出等、この会議終了後、菅沼と朴の木で、協議・検討することのこと。</p>	<p>(横尾G長)</p> <p>菅沼、朴の木地区で1人民生委員を選出することとなっている。来年度役員改選となっており、皆さんから御協力いただき、選出していきたい。民生委員の人数については、増減の情報は県から届いていないので、今のところ現状と同じだと考えている。原則として、75歳までの人から選出していただくが、地域の実情により、75歳以上でも可能である。菅沼、朴の木で協議し、選出をお願いする。</p> <p>(横尾G長)</p> <p>高齢化が進み、年齢要件が変わってきた。</p> <p>※交通安全指導員については、安塚交通安全協会役員についての選出に対する質問であり、回答はしなかった。</p>
<ul style="list-style-type: none"> <li>手しごと館の羽目板が破損しているので、修繕してほしい。</li> </ul>	<p>(市川所長)</p> <p>現場を確認している。修繕を行う。</p>

安塚コミュニティプラザ

質問・要望等の内容	回答
<ul style="list-style-type: none"> <li>・健康づくりポイントについて、制度が分かりにくい。もっと簡単にできる方法は無いのか。制度は良いと思う。</li> <li>・制度の締め切りは、半期単位が良いと思う。1年間は長すぎると思う。</li> </ul>	<p>(横尾G長)</p> <p>今回配布した資料とは別に、カラー刷りの資料を各世帯に配布している。御連絡いただければ、予備のものを配布する。</p> <p>(市川所長)</p> <p>一人で行うには難しい面もあるので、皆さんで声を掛け合って、仲間で取り組んでいただきたいと思う。</p> <p>(横尾G長)</p> <p>今年初めて行う事業であり、次年度の制度改正に向けて、御意見をお聞きする。</p>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・健康診査の受診券配布が、早すぎる。各区域に分けて、発送できないか。</li> </ul>	<p>(横尾G長)</p> <p>市全体で一斉に発送している。発送は健康づくり推進課で行っている。要望、御意見は担当課へ伝える。</p>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・全戸配布の配布物が多すぎる。配布物が多いと、内容を確認しないで、捨てる世帯もあると思う。全戸配布文書の精査をお願いしたい。</li> <li>・市の広報に配布文書の内容を記載し、配布文書の削減を図ったらどうか。</li> </ul>	<p>(市川所長)</p> <p>御意見は、広報対話課へ伝える。広報紙への記載だが、新しい制度等についてのお知らせは、広報紙に記載するのではなく、別にお知らせしたいことが多く、周知のチラシ等を各世帯に配布している。また、広報紙記載原稿の締め切りが早く、間に合わないことが多い。配布の負担が大きいと思うが、御理解、御協力をお願いする。</p>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・安塚町時代は、ほ場整備の計画を策定し、計画的に整備を進めてきた。整備してから相当の年数が経過し、用水路の老朽化等が発生してきている。地元の町内会では、約7割の農家が農業を委託、あるいは賃貸としている。このため、ほ場整備には、農家負担が大きく取り組めない。</li> <li>・担い手へ多くの農地が集まり、担い手の負担が多くなってきている。</li> </ul>	<p>(山崎G長)</p> <p>昨年度、大・浦・安の町内会長に照会を行い、平成34年度採択に向け中山間整備事業の取り組みを行っている。その中には、ほ場整備や水路整備がある。松崎の水管橋の整備も対象であり、整備を進めるため、現地確認を行う予定にしている。地元負担は5%となっている。ほ場整備は、地元の負担は無い。ただし、一定の条件がある。中山間地域等直接支払に取り組んでいる集落は、交付金を地元負担に充当することができる。</p> <p>(市川所長)</p> <p>広いエリアで物事を考えていかないと、若</p>

質問・要望等の内容	回答
<ul style="list-style-type: none"> <li>・安塚区でも大規模な法人が必要になってくる。安塚、牧野、直峰で一つの法人となれば、安定的な経営も可能だと思う。</li> <li>・坊金は、中山間地域等直接支払交付金を活用している法人なので、経営が安定していると思う。中山間地域等直接支払交付金を使わなくても経営していける法人が必要だと思う。</li> <li>・10a 当たり、15,000 円や 7,500 円の補助があったが、今は無くなった。つぶれる法人も出てくるのではないだろうか。</li> </ul>	<p>い農家が生活していけない。旧村単位程度の農地で法人化していかないと、経営できないと思う。農家の皆さんが、法人化への取り組みの機運が高まらないと難しい面があるが、法人化への要望があれば、市は専門職員の派遣等、支援を行う。安塚区では、坊金生産組合が規模を拡大し、安定経営を行っていると聞いている。</p> <p>(山崎G長)</p> <p>法人化に向けて説明してほしいと要望があれば、専門の職員を派遣し、説明を行う。</p>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・独身者が多く、結婚に向けて、行政の支援や補助といった制度は無いのか。</li> <li>・十日町の浦田地区は、市が婚活の事業を行い、結婚する人が増えてきている。</li> <li>・市として、農業後継者として移住する若い人にどれだけ支援ができるのか。新規就農の補助に上乗せできるのか。</li> <li>・3年では無理があると思う。</li> <li>・農業で生活するには、米の値段が重要になる。上越米として高い値段で売ることができない。雪室を利用した付加価値を付けた米が必要ではないか。どれくらいの量が保管できるのが重要だと思う。廃校となった学校を雪室に改築し、整備すれば、ある程度保管できるのではないか。</li> <li>・農協が集荷する米は 8,000 俵ある。それ以外にも出荷している米がある。</li> </ul>	<p>(市川所長)</p> <p>出会いの場の提供が必要だろうか。</p> <p>大地の芸術祭があり、こちらに興味を持ち、移住を検討されたり、婚活につながったりすることもある。</p> <p>地域において、農業活動始める導入部分での補助として制度があると思う。地域おこし協力隊の制度もあるが、3年、5年の補助制度の期間内に、その後どのように生活していくかを考えていく必要がある。</p> <p>この地域が好きだという気持ちが無いと、3年で終わると思う。</p> <p>現状では農協に出荷するのではなく、直販が必要になってくる。</p>



質問・要望等の内容	回答
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ いずれにしても、若い人が来なければだめだと思う。</li> <li>・ 地元には、若い人がいるが、結婚し、子供を産まなければ、人口は増えない。行政は、もっとそちらの方面に目を向けてほしい。</li> </ul>	<p>安塚は中山間地域の中で先進的にいろいろなことに取り組んできた。ほかの地区に比べたら、可能性はあると思う。上越魚沼高規格道路が開通すると、20分ほどで高田の中心部に行ける。このことは、車があれば、生活するうえで非常に便利になる。安塚町内会周辺が中心部であり、松崎のインターから和田町内会までの間で、人が住める状態を造ることにより、かなり移住の可能性がある。空地や空き家の情報をしっかりと提供する仕組みを作っていけば、人口増加の可能性は高いと感じている。</p>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 通常の防災情報無線は、聞き取りやすいが、緊急の一斉放送の無線は、単語で区切り、ゆっくりしゃべっているのか聞き取りにくい。</li> </ul>	<p>(市川所長)</p> <p>職員は、緊急時の放送について、訓練を受けて放送している。高齢の人でも内容が聞き取れるよう、ゆっくりと単語で区切った放送としている。若い人からは、聞き取りにくい、わかりにくいという意見があるが、高齢者にも分かる緊急一斉放送としているので、御理解いただきたい。</p>

質問・要望等の内容	回答
<ul style="list-style-type: none"> <li>・集落が疲弊してきている。原因は子供が生まれなためだと思ふ。独身者のために、結婚できる政策を、市や安塚区でできないか過去に提案したことがあつた。行政では行わないと回答があつた。結婚できないため、子供が生まれなことが、集落が疲弊する大きな原因なので、これでは、問題は解決しない。</li> <li>・みんなが一生懸命暮らし、生活していれば、ここに来る人もいれば、住む人も来るだろう。政治や行政が何かを行ったとしても、成功はしない。行政が何もしなくても、坊金には子供を連れて移住してきた人や、結婚し、子供を産んでいる人もいる。理屈や理論では無く、それぞれが精いっぱい暮らしていることが重要ではないかと思ふ。</li> <li>・ここに住もうとする息子や娘のほかに、誰か来てくれれば良いと思ふ。独身者が住むには難しい面があるが、家庭を持ち、ここに移住した人は、全員住み続けている。そのことをPRした方が良いと思ふ。</li> <li>・坊金で家を売っても良いという人がいて、2軒の空き家情報を市に伝えてある。移住に際し、体験してもらったらどうかということで、資料の作成や対応を進めている。坊金元気プロジェクト委員会を立ち上げ、子供たちの交流体験で、ジャガイモ起こしを行った。仕掛けはできたが、参加者を集めることが難しい。市で行う移住体験イベントなどと連携し、交流を通して移住を進めていきたい。集落が楽しくなければ、イベントや体験を行っても移住にはつながらないだろう。</li> </ul>	<p>(市川所長)</p> <p>上越に移住された人は、大地の芸術祭で十日町市を訪れ、移住先を探す中で、上越市に移住したという人が多い。</p> <p>坊金は移住の比率が高い。その面では、住みやすい地区なのかなと思ふ。自分の子供が帰ってこない時代になってきている。子供が帰ってこないことが普通だと考え、そこから先に進む方策を考える必要がある。この地域を訪れ、好きになって、ここで暮らしていきたいと思ふことが大事だと思ふ。そのような機会が必要だと思ふ。</p> <p>都会の人は、体験をしたい人が多い。簡単な農作業から体験を始めることは、良いと思ふ。また、海外の人も、体験や民泊をしたいという人が多い。体験を希望する人は多いが、受入れ体制が整っていないことが多い。</p>

質問・要望等の内容	回答
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 広域農道の一部が陥没している。数年前に修繕したが、また陥没した。通行に支障があるので修繕をお願いしたい。</li> </ul>	<p>(渡辺G長)</p> <p>確認し、対応する。</p>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 坊金中央線の修繕について、今年は調査を行うとのことだが、調査したか確認できない。道路に段差があり、大きくなってきている。道路の下に家が2軒あり、災害があると被害のおそれがある。</li> </ul>	<p>(渡辺G長)</p> <p>確認する。</p>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 虫川からの県道で、大型車両による交通量が非常に多い。いつ頃まで続くのか。</li> </ul>	<p>(渡辺G長)</p> <p>国道253号顕聖寺地内の道路工事残土を運搬しているため、交通量が多い。今年の11月末まで残土を運搬すると県から聞いている。東維持管理事務所に看板を出すなど話をする。</p>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 道路除雪については、午前2時頃から行っている。除雪後、出勤までの間に雪が積もってしまう。</li> </ul>	<p>(渡辺G長)</p> <p>除雪業者が受け持つ路線が長く、出勤前に除雪を終了する必要があるため、午前2時頃の除雪としているのだと思う。除雪業者と協議し、対応が可能であれば、対応を行う。</p>

須川ふれあいセンター

質問・要望等の内容	回答
<p>・干ばつになり、川の水も無くなっている。 この地域はため池に頼るしかないと思っている。水田をつぶして、ため池にしなければならない状況にある。ため池整備は、市だけでなく、県や国の協力が必要と思うので、働きかけをお願いします。</p>	<p>(山崎G長) ため池の整備については、県営の整備事業もあるが、現在、平成 34 年の採択に向け、中山間地整備事業で、地区の要望に基づき現地調査を行っている。須川地区でため池の要望があるのであれば、概要をお聞きし、どのような事業で取り組めるか相談に伺いたい。また、説明を聞きたいということであれば、集落に出向くことにしている。</p>
<p>・空き家となっている旧旅館山輝の屋根が風で飛散し、近所の家に若干の被害があった。空き家の対応について町内会要望に記載したが、その後、何か進捗はあったか。</p> <p>・毎年手紙を出すだけでは、不十分ではないか。</p>	<p>(池田班長) 空き家については、所有者、相続人に対し、5月、11月にきちんと管理するよう通知を出している。また、旧旅館山輝の屋根が飛散した状況も写真を撮り、相続人に状況を通知した。しかし、相続人からの回答は無い。行政代執行による取り壊しを希望されていると思うが、簡単ではない。段階を踏んでからの対応となる。また、現状で、市が取り組める対応は行っている。</p> <p>(市川所長) 市内全域で、同様なケースがある。建築住宅課では、今年、アクションプランの策定を行っている。今年度中には、もう一歩進んだ取り組みを行うこととしている。</p>
<p>・要支援者の個別避難計画書を作成する必要がある。要支援者のリストはいつごろ配布となるか。</p>	<p>(横尾G長) 確認する。</p>
<p>・消防団の人員不足により、部の運営や、各種大会選手の選出といったことが難しくなっている。アンケート調査やヒアリングで消防団の再編を検討していると思うが、早めの対応をお願いします。</p>	<p>(池田班長) アンケート調査の分析を今年中に行い、ヒアリングや分析結果を基に、今年度中に市長へ答申を行う予定と聞いている。団員の確保が難しい現状があり、分団の再編を含んだ答申が行われるのではと考えている。平成 31 年度に方針が確定し、平成 32 年度から方針に沿った消防団の運営になると予想される。情報が入り次第、方面隊幹部会議で各部長にお知らせする。</p>

質問・要望等の内容	回答
	<p>(市川所長)</p> <p>合併により、訓練などが増えている。幹部が疲弊している面がある。訓練を減らすといったことが必要ではないかと考えている。</p>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・バスについては、乗らないが、無くなると困る。赤字が発生することは仕方ないと思う。市で負担してもらいたい。</li> <li>・須川の集落で組合のようなものを設立し、順番で自動車を運転し、通院したらどうかと思う。近所の人から運んでもらうと気が引けると思う。</li> <li>・買い物困難者のための移動販売を行ったが、須川では利用者がいなかった。津南から野菜の販売で業者が回ってくるが、ほかは来ていない。不便を感じていない。</li> </ul>	